

一億人が1円を出し合って、みんなで赤ちゃん誕生を喜ぶ社会を。

# 円ブリオ通信

発行 NPO法人円ブリオ基金センター URL [www.embryokikin.com](http://www.embryokikin.com)



支援したお母さんからのお手紙

親身になって相談にのって  
もらって感謝！

嫁さんが無事元気な女の子を出産しました。円ブリオ様には大変お世話になりました。会ったこともない優しい基金の支援者のおかげで無事出産・退院出来て大変喜ばしいです。支援が決まった時は、嫁も喜び、夫婦共々安心しました。相談の電話をした時は、話を親身に聞いてくれるだけではなく、嫁の体調まで気遣って頂いて感謝しております。これから元気な子を私と二人三脚で大事に育てていこうと思います。子どもが大きくなったら、一緒に募金したりして、今度は私たちが誰かのために支援できたらいいなと思っています。目には見えませんが、どこかで円ブリオの皆様とも縁があると信じ、感謝を持って生きていきます。

(K・M)



募ったのらで  
下さり感謝  
形で届けて  
下さるの嬉しい  
な言葉に  
喜んで  
金た言  
んして  
た方  
んして  
た方  
んして  
た方

皆様の1円で、これまでに810人の赤ちゃんが誕生。

「支援・協力下さり、ありがとうございます。」

(R2・8月28日現在)



一日も円ブリオのことを  
忘れた日はない



こんにちは。早いもので、息子が誕生して早一年が経とうとしています。1日たりとも、円ブリオの皆様のことを忘れた事はありません。事あるごとに、あの時助けて頂いて息子がいる、私達がいると日々感謝しています。祖母より生前贈与がありましたので、援助頂いた10万円を寄付させて頂きたく思います。本当はもう少し寄付させて頂きたい気持ちもありますが、まずは自分達が支援頂いた分だけでもという気持ちです。ありがとうございました。(Y・H)

※この度10万円を寄付下さいました。

### 鹿児島

「公民館だより」で全家庭に紹介！  
自分の住んでいる日置市花田地区の「公民館だより」に円ブリオ基金のことを紹介して下さいました。毎月各家庭に発行されていて、とても嬉しく思います。(楯記)



公民館には『生命尊重ニュース』も届けています。

### 大分

臼杵・亀城大学で  
円ブリオキャンペーン！



5ヶ月ぶりに開催された臼杵の高齢者のための「亀城大学」で、コロナによる自粛の許可を頂き実施の許を頂きメンバー三人で街頭募金をさせて頂きました。(熊谷記)

### 東京

今年も暁星小学校の子どもたちより  
20万円の献金とお手紙が届きました！

あかちゃんかみまわすうけください  
ほくはほかあさよりのかきです。  
だからあかちゃんかみまわすうけ  
あかちゃんかみまわるといふことは、  
1人の赤ちゃんが生まれるといふこと  
です。大きな力をさかせるわ  
けです。まはくはまはくと思うと、  
1人1人のあかちゃんかみまわす  
などと思ひます



9月20日は「円ブリオ設立の日」です。

円ブリオ基金を集めて、お腹の赤ちゃんとお母さんを応援しよう！

## 胎児のために 始めよう



第1号のリーフレット (H5)

## 一円玉は赤ちゃん

胎児おうえんボランティア基金代表  
北里大学生命倫理委員 作家 高見沢潤子

此の頃の若い男女の性の乱れも何とかくいどめたいが、その結果におこる中絶の問題はどうしても出来るだけ少なくしたいのが生命尊重センターの必死の願いである。性教育などがされてはいるが中絶は一向へらないところが益々ふえるばかりだときく。何とかしなければと、生命尊重センターは一円献金を始めた。一人でも多くの人が此の運動に参加して、暖かい御協力をして頂きたいためである。一円は一番小さな弱いお金である。うまれ出たばかりの何も出来ない弱い赤ん坊と同じである。しかしだんだんとふやしていけば、赤ん坊がだんだんと成長し、徐々に、みて笑い、声を出し、這い這いするようになるのと同じように、多くの人が心をこめて一円ずつ献金して下されば価値ある、役に立つ額に成長するのである。



平成5年9月「胎児おうえんボランティア基金」は  
中絶を少なくし、胎児のために始めよう  
産声をあげました。

「円フリオ基金」の  
誕生について知っていますか？



## ひと口1円1億人へのメッセージ

人の心が優しくなった頃 小さな生命は大切にされた  
いつのまにか 人は多くの物を捨てるようになった  
お金も そして人の生命さえ

一円玉が捨てられている  
気づいても 誰も拾おうとはしない  
小さな声が聞こえませんか  
“私のいのちを生かして”と

軽いアルミの一円玉  
手のひらにそっと包んでみると  
なんだか気持ちが優しくなる  
貨幣の赤ちゃん一円玉は  
未来の赤ちゃん胎児と同じです

一人がポンと 一億円を出すより  
一億の人が一円をだして  
赤ちゃんのいのちを救うほうが 美しい

一円を生かして 小さな命を生かす  
人間のこころを生かす  
21世紀を豊かにデザインするために  
あなたの優しさをわけていただけますか



第2号 (H7)

## 新しい家族の誕生を支援する

# 胎児おうえんボランティア基金

赤ちゃんが健やかに生まれ、育つことができ、  
親が子育てを通して幸せを感じられる社会づくりを  
めざして、生命尊重センターが母体となり、  
平成5年9月20日設立

平成4年10月14日、ドイツ・バイエルン州のエアランゲン大学病院は、交通事故で、脳死状態になっている妊娠4ヵ月の未婚女性について、胎児が生きていることから、出産まで延命措置を続けることを発表。日本の各新聞社もこの問題を大きく取り上げました。胎内で胎児が生きている！女性のお父さん、お母さんもこの胎児を助けたいと願っている！早速、朝日新聞社あてに、私たちが何か応援したいと、献金を送りました。まもなく、朝日新聞東京本社、長井道一氏より「わが国にも、新聞社にも、胎児尊重に役立つ基金の制度がありません」と返金されてきました。誰もが通る「いのちの始まり」を守る基金制度がないとはどういうことでしょうか。

このことを通じて、私たちの新しい家族、小さなみえない胎児の生命を皆が守り育てていく社会にとの願いを、貨幣の赤ちゃん一円玉に託して、「ひと口一円一億人へ胎児おうえんボランティア基金」の呼びかけを開始しました。

国内初  
お腹の赤ちゃんの命を守る  
基金制度！

平成10年「円フリオ基金」と改名。

次号に



平成7年阪神・淡路大震災で6人の赤ちゃんと妊婦さんを応援したのが第1号の円フリオベビーです。